

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



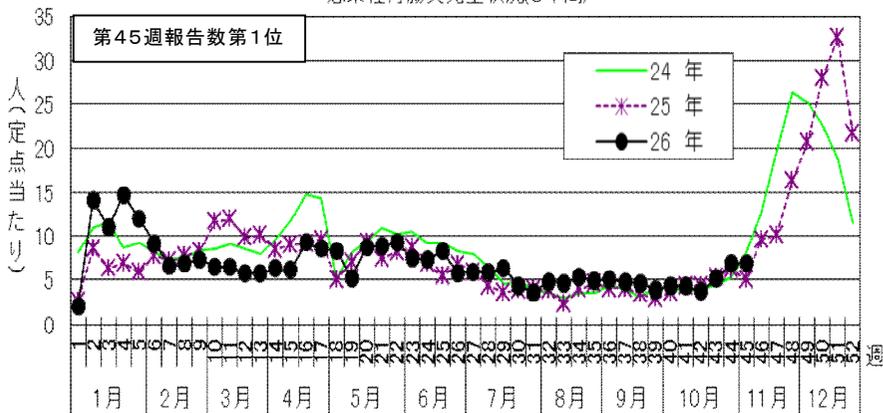
KAWASAKI CITY



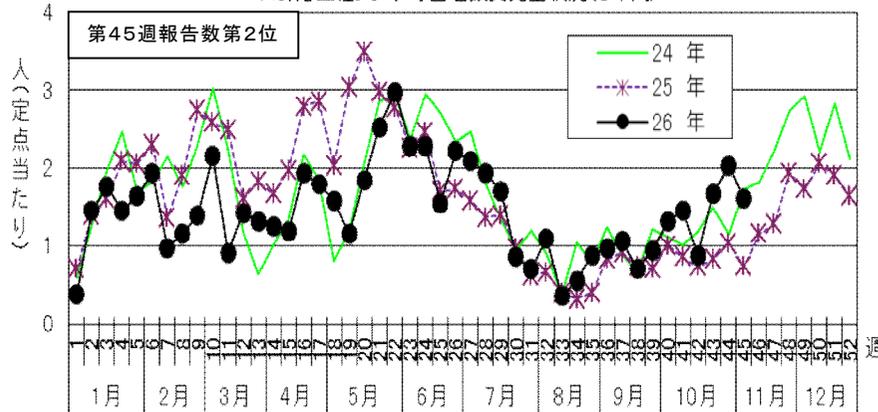
平成26年11月3日（月）～平成26年11月9日（日）〔平成26年第45週〕の感染症発生状況

第45週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)水痘でした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.85人と前週（6.88）からほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.61人と前週（2.03）からほぼ横ばいで、例年とほぼ同じレベルで推移しています。  
 水痘の定点当たり患者報告数は1.52人と前週（0.70）から増加しましたが、例年とほぼ同じレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



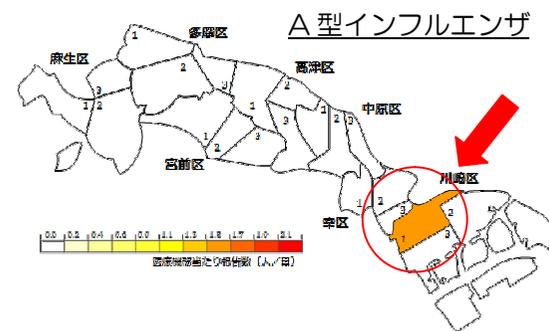
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## インフルエンザ流行の兆し！！

今シーズン初めてインフルエンザによる学級閉鎖の報告がありました。また、川崎市感染症情報発信システムのリアルタイムサーベイランスでは、川崎区においてインフルエンザ患者報告数が増加しています。

A香港型及びB型のインフルエンザウイルスも9月末から検出されており、例年に比べて早く流行が始まる可能性があります。予防接種などの対策を早めにご検討ください。



### 今年度のワクチンはどの種類のインフルエンザに効果があるのですか？

今年度の季節性インフルエンザワクチンには、以下の3種類が含まれています。

- A/H1N1 亜型（2009年以降の流行株）
- A/H3N2 亜型（いわゆるA香港型）\*
- B型

※昨年度のワクチン株と異なります。



川崎市感染症情報発信システム（KIDSS）  
 リアルタイムサーベイランス公開情報  
 （平成26年11月10日報告分）

※11月11日14:00時点

URL : <https://kidss.city.kawasaki.jp/>

川崎市感染症情報発信システムでは、現在、A型及びB型インフルエンザの毎日の発生状況を公開しています。